

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

重要文化財をはじめ、貴重な資料を多数保有することを活かして東京国立博物館と同一テーマで特別展を開催するなど幅広い事業連携を行い、館のPRに努めた。またこの特別展の一環として谷中小学校への出前講座を行うなど、区民の文化振興を図る施設としての役割も果たした。

8. 評価項目
 3: 協定等の水準を上回っている。
 2: 協定等の水準どおりである。
 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。
 0: 協定等の水準を下回っている。
 -: 評価対象外項目。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.1]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [3]
(3)利用者の満足度 平均 [2.4]	(a)利用者・第三者機関の評価 [3]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [3]
	(c)利用者数の目標達成 [2]			
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)経費縮減のための取組み [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	東京国立博物館・朝倉彫塑館と連携を図った特別展を行うなど、館の保有する貴重な文化財を活かした事業を展開した。
(2)施設の維持管理	A	常時より省エネに努めているが、更なる節電等の努力を行い、光熱水費の削減に成功した。また12点の重要文化財をはじめとした資料の管理・保全についても計画的に補修を行うなど細心の注意を払っている。
(3)利用者の満足度	S	関係団体との幅広い連携事業を行い、相互割引を適用することで入館者サービスに努めた。さらに漢字の成り立ちについての出前講座を谷中小学校で行うなど区民の文化振興にも力をいれた。
(4)歳入歳出	A	予算については効率的な運営に努めており、適切に執行されている。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	貴重な収蔵品を活かし、関係団体との連携事業を展開するなど、利用者サービスの向上を含めた積極的な事業を展開している。また施設の維持管理、資料の管理・保全についても計画的に修繕を行うなど適切な対応を行っている。
-----------	---

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

今後も重要なコレクションを有する専門博物館として貴重な資料の管理・保全に努めるとともに、その貴重な資料を活用した魅力ある展示・特別展を企画し、広く区民および一般に観覧してもらうことで入館者の増を目指す。